

1. 歴史・なりたち

本圏域は、古くは谷田村、菜畑村の自給的農村でしたが、大正3年(1914年)の大軌鉄道(現近鉄奈良線)の開通に伴い宝山寺に至る参詣線が開かれ、参詣者への飲食店や土産物店、料理旅館等の施設が建ち並び、門前町としての商業地域が、また、大正7年の日本初となるケーブルの開通、昭和4年の生駒山上遊園地の開園とケーブルの延伸など、商業の中心地、観光都市として発展する素地が形成されました。その後、昭和30年から40年代にかけて商業地域の周辺、生駒山の裾野に戸建て住宅地の開発が進められ、その後も市役所庁舎をはじめ、多くの公共施設が立地するなど、本市の都市拠点としての市街地が形成されています。

2. 特徴

矢田丘陵を望む生駒山東麓に市街地が形成され、生駒駅南口周辺地域は、ぴっくり通りを中心とする商店街に加え、奈良県下初の市街地再開発事業で整備された商業ビルが立地しています。生駒駅南口を起点とする宝山寺や生駒山上につながるケーブルは観光客のほか市民の生活の足として利用されています。宝山寺に至る参詣道は石段が趣のある風情をのぞかせ、生駒山東麓の斜面地形を活かした住宅地は陽当たりも良く、矢田丘陵を望む眺望景観も良好で、歴史や自然を身近に感じることのできる生駒らしさを兼ね備えた地域でもあります。

3. 概況

(1) 町別人口の増減 (2020年→2040年)

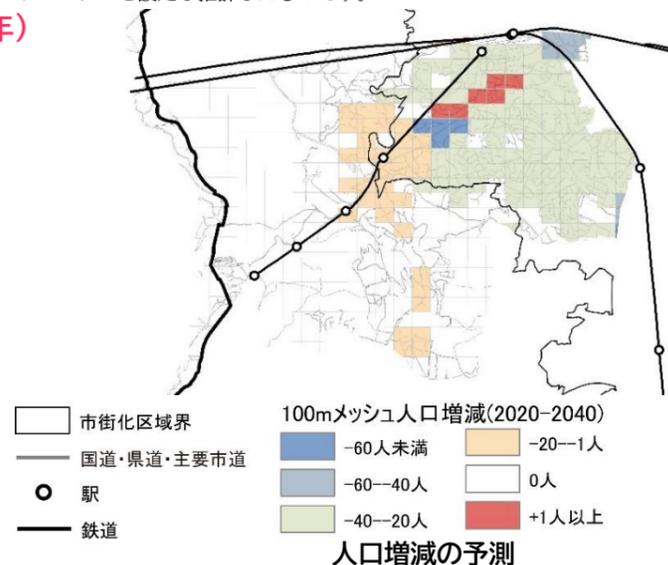
町名	入居開始年	生駒市第2期人口ビジョン (人)												住民基本台帳 (R2.4.1)
		総人口			14歳以下			15歳以上74歳以下			75歳以上			
		2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	
東新町	—	505	445	-11.9%	51	51	0.0%	385	339	-11.9%	69	92	34.1%	295
本町	—	481	365	-24.2%	37	35	-6.7%	339	231	-31.9%	105	99	-5.7%	337
元町1	—	210	173	-17.6%	14	19	35.7%	149	118	-20.8%	47	36	-23.4%	120
元町2	—	722	672	-6.9%	109	94	-13.8%	530	462	-12.8%	83	116	39.8%	344
山崎新町	—	1,169	983	-15.9%	121	116	-3.9%	830	658	-20.7%	218	209	-3.8%	631
仲之町	—	636	581	-8.7%	76	81	6.7%	474	382	-19.4%	86	118	37.4%	329
軽井沢町	—	615	490	-20.3%	66	61	-7.3%	434	298	-31.3%	115	131	14.1%	281
門前町	—	782	600	-23.3%	62	65	4.9%	537	364	-32.2%	183	171	-6.7%	423
東旭ヶ丘	—	1,356	1,244	-8.3%	181	163	-10.1%	1003	858	-14.5%	172	223	29.7%	667
西旭ヶ丘	—	1,227	1,075	-12.4%	131	143	9.6%	899	710	-21.0%	197	222	12.9%	644
新旭ヶ丘	—	765	625	-18.3%	86	80	-7.0%	523	408	-22.0%	156	137	-12.2%	352
緑ヶ丘	—	1,229	1,058	-13.9%	173	145	-16.4%	869	691	-20.5%	187	222	18.9%	525
菜畑町	—	71	58	-18.6%	5	8	68.9%	51	34	-33.3%	15	16	6.7%	41
合計	—	9,769	8,370	-14.3%	1,630	1,792	9.9%	8,139	6,578	-19.2%	1,112	1,061	-4.6%	4,989

※生駒市第2期人口ビジョンとは、国立社会保障・人口問題研究所から2018年に公表された『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』を基に、生残率や移動率といった人口推計に必要なパラメーターを設定し推計したものです。

(2) 人口密度の増減 (2020年→2040年)

町名	生駒市第2期人口ビジョン 人口密度(人/ha)		
	2020年	2040年	増減率
	東新町	63.1	55.6
本町	68.7	52.1	-24.2%
元町1	35.0	28.8	-17.7%
元町2	31.4	29.2	-7.0%
山崎新町	167.0	140.5	-15.9%
仲之町	106.0	96.8	-8.7%
軽井沢町	36.2	28.8	-20.3%
門前町	7.6	5.8	-23.3%
東旭ヶ丘	84.8	77.8	-8.3%
西旭ヶ丘	61.4	53.8	-12.4%
新旭ヶ丘	54.7	44.6	-18.3%
緑ヶ丘	53.4	46.0	-13.9%
菜畑町	0.5	0.4	-18.6%

※人口密度は、山間部など極端に人口が少ない地域を含む町単位での平均値となり実態と乖離している場合があります。



(3) 交通

拠点駅 生駒駅(近鉄奈良線)

- 乗降者数 47,254人/日 (H30.11調査)
- バス路線数 2路線(うちコミュニティバス路線1路線)

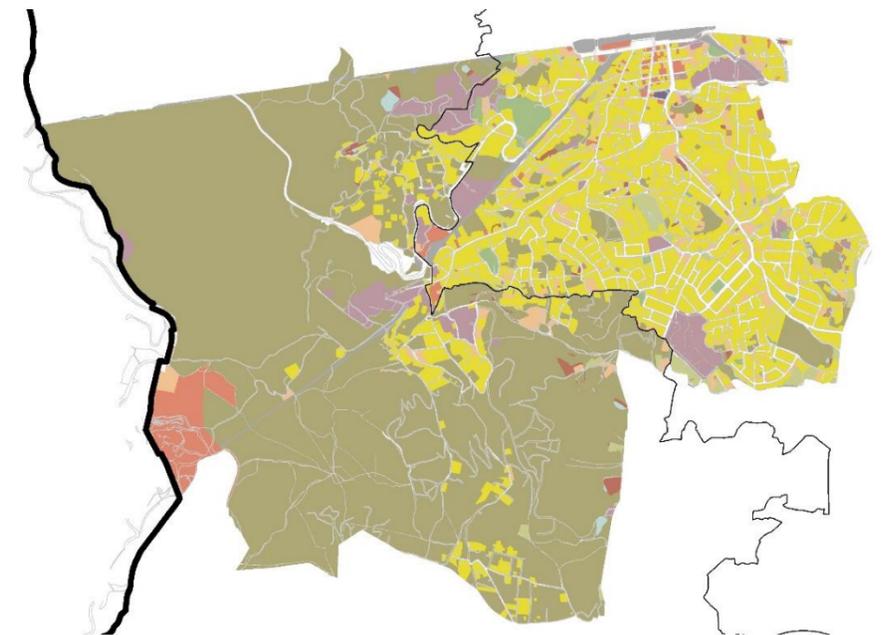
方面・経由	6:00-9:00 通勤時間帯 (本/時)	9:00-17:00 昼 (本/時)	17:00-20:00 帰宅時間帯 (本/時)
中菜畑二丁目	4.7	2.9	3.3
コミュニティバス門前線	0.7	1.9	0.3

2020年10月時点の奈良交通バス、生駒市コミュニティバス時刻表より、時間帯別に各方面のバス本数平均値を集計したものです。

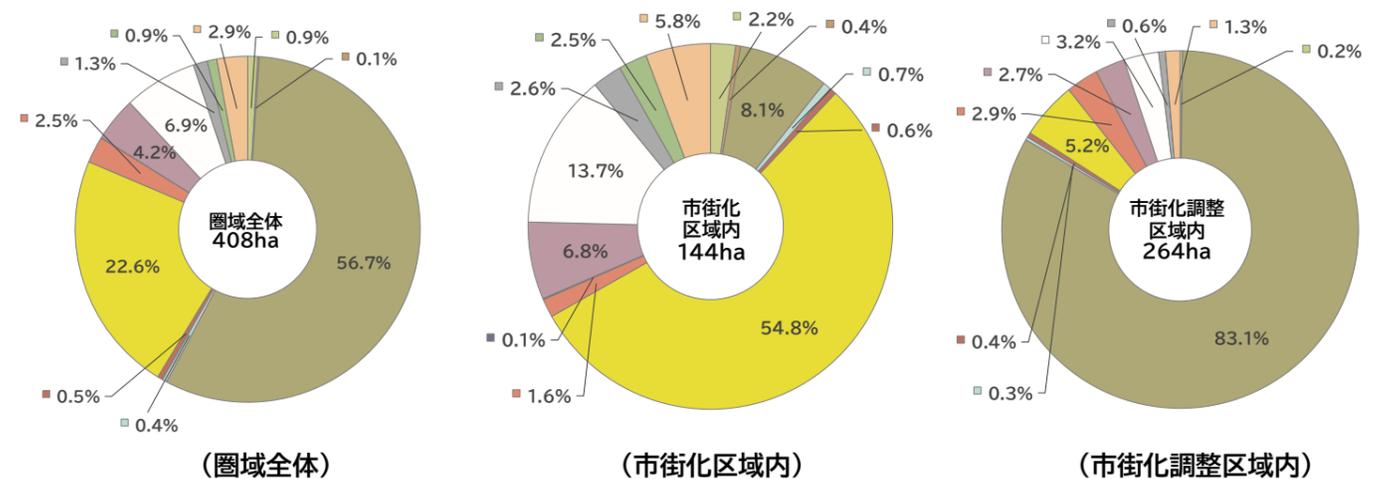
(4) 土地利用

土地利用の状況 ※都市計画基礎調査(H26)より

- 土地利用現況
- 田
 - 畑
 - 山林
 - 水面
 - その他の自然地
 - 住宅用地
 - 商業用地
 - 工業用地
 - 公益施設用地
 - 道路用地
 - 交通施設用地
 - 公共空地
 - その他の空地



土地利用の割合



4. 都市施設・地域資源の立地状況と市民意識

市民意識調査結果

都市施設・生活利便施設

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

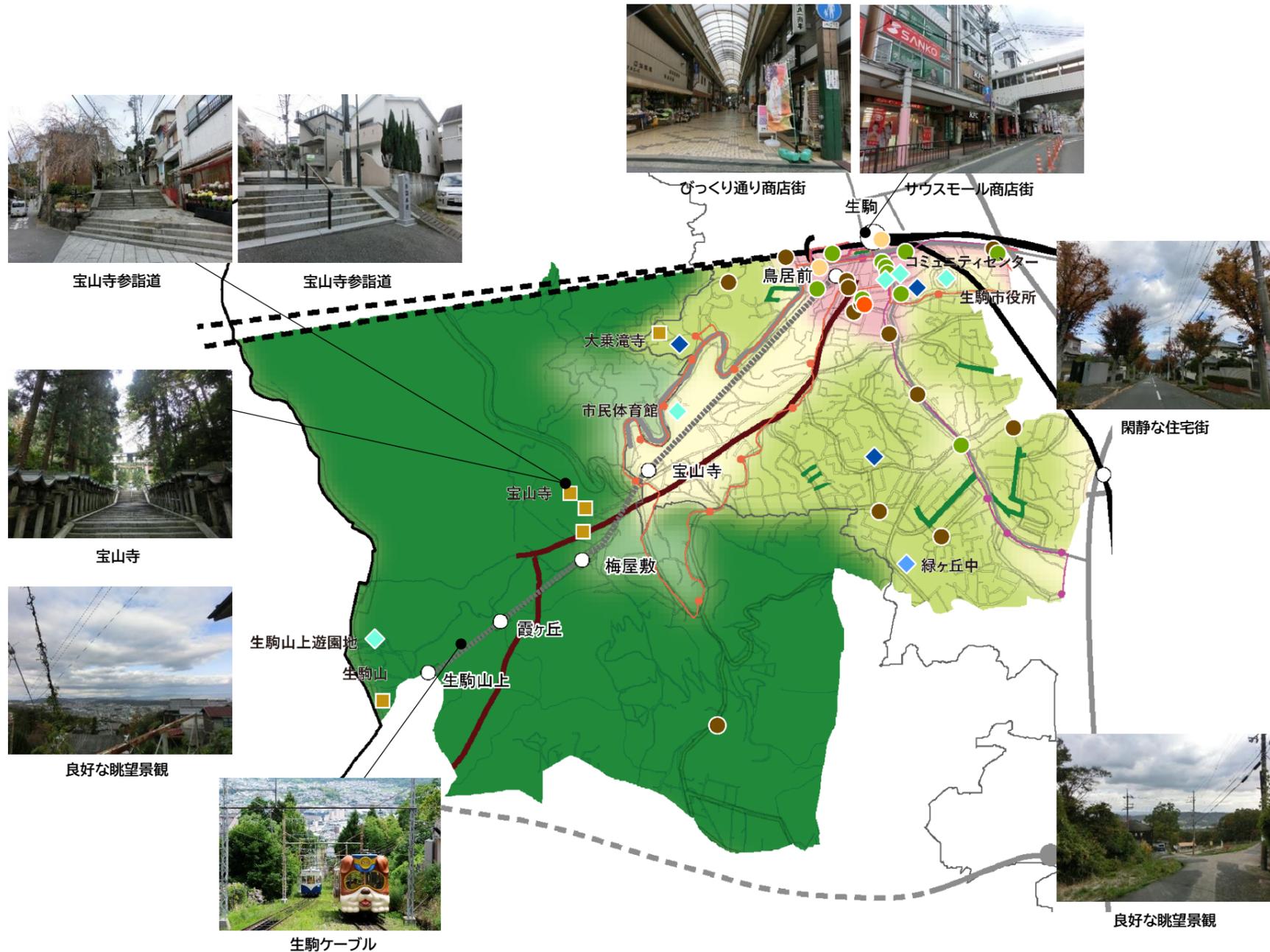
〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 日常の買い物の便利さ
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 身近な生活道路の整備状況
- ・ 歩行者・自転車のための道路の快適性・安全性
- ・ 公共施設や駅舎・駅周辺等における歩道の段差解消、エレベーター設置など
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ
- ・ 災害に対するまちの安全性
- ・ 高齢者福祉施設への行きやすさ

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む生駒駅・東生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



土地利用

- | | | |
|---------------|----------|--------------|
| 市街地ゾーン | 商業・業務地 | ◆ 小中学校 |
| | 低層住宅地 | ◆ 保育園・幼稚園 |
| | 複合住宅地 | ◆ 公共施設 |
| | 山林・緑地ゾーン | ● スーパーマーケット等 |
| — 行政界 | | ● ドラッグストア |
| — 市街化区域界 | | ● コンビニ |
| — 国道・県道・主要地方道 | | ● 病院診療所 |
| — その他の道路 | | ● 福祉施設等 |
| ○ 駅 | | ■ 主要歴史文化資源 |
| — 鉄道 | | |
| — 路線バス | | |
| — コミュニティバス | | |
| — 街路樹 | | |

市民意識調査結果

居住環境・コミュニティ

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 子どもの教育環境の良さ
- ・ 治安の良さ
- ・ 閑静でゆとりのある住環境
- ・ 総合的に見た地域への満足度
- ・ 地域内の知り合いや頼れる人の多さ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 災害時等の自分の住まいの安全性
- ・ 災害時等の避難場所や避難経路
- ・ 地域での自分の思いや声の届きやすさ
- ・ 地域活動の世代交代の進み具合

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む生駒駅・東生駒駅周辺地域の声を集めたものです。